

広報

ただみ

10
2010 月号

No. 485
平成22年10月10日



今月の表紙

豊作祈願の秋まつりが、9月5日町内の各地区で行われ、にぎわった。只見駅前通りでもウキウキわいわいフェスタが催され、子どもみこしや縁結祈願みこしが威勢よくくり出し、まつりを盛り上げた。夜は、豊年踊り大仮装大会に踊りの輪ができた。

学力向上

レインボープランⅡ事業	2~3
平成21年度決算報告	4~7
自然首都只見応援基金事業報告・給与公表	8~10
八所神社(黒谷)御遷宮祭 他	11~13
町の話題	14~15

学力向上で

児童生徒の夢の実現を！

学力向上レインボープランⅡ事業



▲只見高等学校3年生の習熟度別授業



▽趣旨

①希望する企業への就職、専門学校や大学への進学、地元に残って家業を継ぐ、あるいは起業するなど児童生徒の夢はさまざまです。これらの夢を実現するためにも学力が基盤となります。

②只見町も経済の低迷、少子高齢化などさまざまな課題があります。こうした厳しい社会状況だからこそ未来の只見町を支えてくれる人材が必要です。そのためには「地元の人材は地元で育てる」ことが大切です。やがての只見高等学校から起業家や医者や弁護士などのさまざまな人材が輩出されることを願ってこの学力向上事業に取り組みます。

▽実施期間
平成22年度から平成26年度までの5年間取り組みます。

▽内容

【保育所】

読書活動の充実で豊かな言語を身につけます。

【小学校】

算数の学力向上や外国語活動の充実に努めます。

【中学校】

数学・英語の習熟度別指導やIT（チームティーチング）指導で学力を高めます。

【高校】

数学・英語の習熟度別指導で学力を高めます。

▽成果と課題

○平成15年から平成21年度まで学力向上レインボープランⅠ事業として小中高校の連携で国語の学力向上に取り組み大きな成果が得られました。

○現在、算数、数学、英語の学力の伸び悩みが見られ課題となっています。

○家庭ではテレビやゲームなどで過ごす時間が多く、家庭学習の習慣化が未定着となっています。

○将来の自分の目標が決められないまま進学している状況もあり課題となっています。

本年度から教育委員会では、「学力向上レインボープランⅡ事業」に取り組んでいます。
この事業は、児童生徒の将来の夢を実現させることを目的に、保育所から、小学校、中学校、そして只見高等学校までの連携指導を行い、基盤となる学力の向上を目指す事業です。この事業を広く町民の皆様にご理解いただくとともに、子どもたちの夢の実現に向け、ご協力をいただきたく、各学校の取り組み内容をご紹介します。

只見高等学校

校長 鈴木 健司

▽本年度の学力向上の目標

- ・家庭学習
1学年…2時間
2学年…3時間
3学年…4時間

▽主な取り組み

- ①家庭学習の習慣化
- ②読書習慣の確立
- ③理解度に応じた習熟度別授業の実施（英語、数学）
- ④学ぶ意欲を高める講演会の実施
- ⑤英語検定の奨励
- ⑥授業規律の保持

▽学力向上への校長の思い

高校卒業時の進路選択は、その後の生き方に大きな影響を与える大事な選択です。

この選択の際に、本人の夢や環境も大切ですが、本人の持つ学力によって左右されます。

どのような生き方をするか選択の幅を広げるためには、高い学力を身につけておくことが不可欠です。

只見小学校

校長 高橋 吉博

▼本年度の学力向上の目標

- ①単元テスト平均 80点以上 80%以上
- ②学習定着確認シート達成率 80%以上
- ③標準学力検査の偏差値 国語57以上 算数55以上

▼主な取り組み

- ①めあてとまごめを重視した授業
- ②繰り返し練習問題を解き、学力の定着を図る。
- ③習熟度別学習を取り入れ、少人数学習を推進する。
- ④授業研究を一層充実させ、指導の腕を磨く。
- ⑤算数科の習熟時において、組織体制で臨み、学力の定着を図る。
- ⑥家庭学習の充実を図る。(学年×10分の徹底)
- ⑦読書活動の充実を図り、読解力を身につけさせる。

▼学力向上への校長の思い

「生きる力」を育むためには、知・徳・体のバランスのとれた力が大事です。その中の知(学力)の向上は、最も大切であり、学校の責務であります。将来の夢実現のために、基礎基本の定着を図り、十分な学力を身につけさせ、中学、高校へと橋渡しをしていきたいと考えます。

朝日小学校

校長 佐藤 雅義

▼本年度の学力向上の目標

- ①各種テスト全国または県平均 110%
- ②個の実態から予想される学力水準より低い児童 0%
- ③家庭学習の時間 学年×10分+a

▼主な取り組み

- ①思考力・表現力向上を目指した授業の改善・充実
- ②「めあて」と「まごめ」を明確にした授業の実施
- ③考え方・ノート等「学び方指導」と学習環境の充実
- ④学習定着確認シートの完全実施と評価、正答を導く考え方の指導
- ⑤チャレンジタイムの充実(基礎・活用等各種問題の実施と考え方の解説)
- ⑥読書タイムの充実による読解力と感性の育成
- ⑦手引きによる家庭学習の習慣化(家庭学習時間〓学年×10分+a)

▼学力向上への校長の思い

苟子は、学問を「困ったことが起きてもしっかり問題を解決する力・苦しさや辛さに負けない強い力を育てるためである。順調な時も災いが起きた時もしっかりと生きていく力を身につけるため」と言っています。子どもの夢を実現し、どのような環境にあっても、より良く生きるために学力向上は必要です。



▲朝日小学校6年生の国語の授業

明和小学校

校長 馬場 永好

▼本年度の学力向上の目標

- ①標準学力検査の偏差値 国語55以上 算数53以上
- ②ベネッセ総合学力調査(平均到達度) 国語78以上 算数62以上
- ③学習定着確認シートの達成率 85%以上

▼主な取り組み

- ①ねらいを明確にするとともに、まごめの時間を確保する。
- ②子供たちの興味関心が持続する教材を工夫し、意欲を高める。
- ③習熟の度合いに応じた教材を

- ④ノートの効果的に活用すること、思考力や表現力を養う。
- ⑤算数科ではTT(チームテイーチング)による授業を進めることで、きめ細かな指導を行う。
- ⑥朝の時間を利用した「確認テスト」により、定着の度合いを確認する。
- ⑦家庭との連携を図り、家庭学習の習慣(学年×10分)を身につけさせる。

▼学力向上への校長の思い

本校教育目標でもある、進んで学習する子ども(知)、思いやりのある子ども(徳)、強くたくましい子ども(体)を重視させ、「只見学」の推進も図りながら、教育委員会の「3・5・10」年後の高校入試の長期目標達成のため、全教職員で取り組みます。



▲只見中学校3年生の全体指導

只見中学校

校長 吉津 政一

▼本年度の学力向上の目標

- ①分かる授業・楽しい授業 70%以上(生徒アンケート)
- ②実力テスト 8%アップ
- ③各種検定所有率 50%

▼主な取り組み

- ①問題解決のための見通しを持たせる。
- ②生徒同士の学び合いの場を設定する。
- ③授業のねらいを明確にする。
- ④各種検定への積極的参加を呼びかける。
- ⑤ねらいとまごめに一貫性のある授業を行う。
- ⑥授業にまごめの時間を十分に確保し、確実な定着を図る。

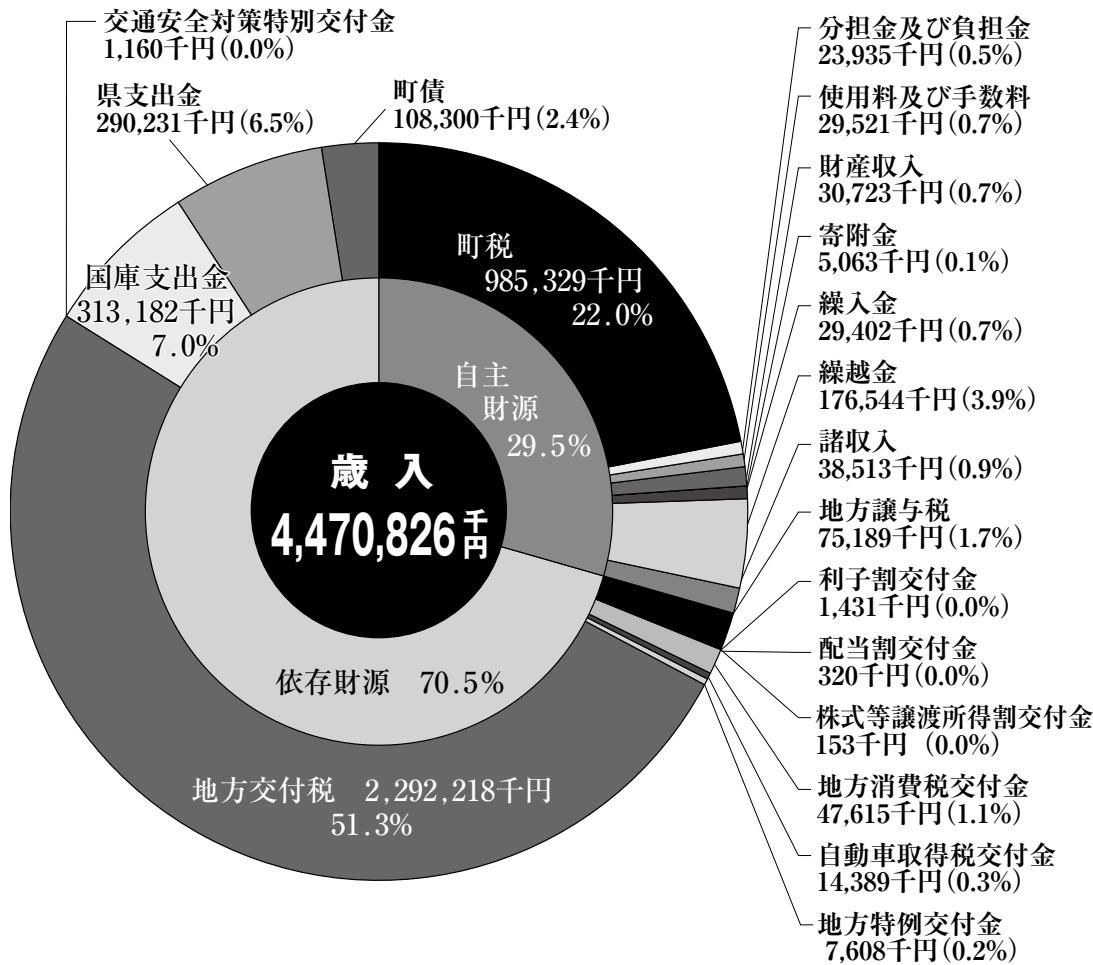
▼学力向上への校長の思い

現在の中学生にとって、高校入試はほとんどの生徒が避けて通れない人生の一つのハードルです。そして、その先には大学入試あるいは就職試験が待っています。近い将来のために、生徒の学力向上に取り組み、全国で戦うための学力をつけていきたいと思っています。

以上のように、学校ごとに課題を整理し、学力向上に努力いたします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

決算報告

皆さんが納めた税金や国・県からの補助金が、この一年間どのように使われたのかを普通会計を中心にお知らせいたします。これは只見町財政状況等の公表に関する条例に基づいております。



歳入

歳入の決算は44億7082万6千円で前年に比べ、7億8386万円減少しました。歳入のうち、町税、分担金・負担金、使用料・手数料等、町が徴収できる自主財源は、13億1903万円で、前年度に比べ2億6595万4千円減少しました。自主財源の中で最も多いのが町税です。9億8532万9千円で、歳入全体の22・0%、前年度に比べ1・5%減少しました。これは主に、景気悪化等による町民税の減少によるものです。自主財源に対し、地方交付税、国・県支出金、町債等、国や県からの交付や割り当てによる依存財源は、31億5179万6千円でした。この依存財源の中で最も頼りになるのが地方交付税です。これは、どの地方公共団体も等しく事務・事業ができるように、

町税の決算状況

(単位：千円)

種類	前年度決算額	21年度決算額	伸び率
町民税	164,720	151,410	-8.1%
固定資産税	796,213	796,110	-0.0%
軽自動車税	9,988	10,263	2.8%
町たばこ税	24,159	22,157	-8.3%
入湯税	5,375	5,389	0.3%
合計	1,000,455	985,329	-1.5%

国税のうち所得税、法人税、消費税、酒税、たばこ税の一定割合を国から交付されるもので、決算額は、22億9221万8千円でした。歳入全体の51・3%を占め、前年度に比べ5931万5千円増加しました。国及び県から交付された国庫・県支出金は6億341万3千円で、前年度と比べて3億3149万5千円減少しました。これは主に、明和小学校改築事業の完了によるものです。町債は、道路や施設を整備するために借り入れるお金のことで、前年度より2億3310万円少ない1億830万円借り入れました。辺地債などの優良債を利用しました。

用語の解説（歳入）

■町税

町民の皆さんから納めていただく町民税や会社の法人町民税、固定資産税などです。

■使用料・手数料

町の施設の使用料や住民票などの交付の際の手数料です。

■財産収入

各種基金利子や町の財産を売払ったお金です。

■繰入金

各種基金や他の会計から一般会計へ繰り入れたお金です。

■諸収入

他の収入科目に含まれない収入です。預金利子などがあります。

■その他

繰入金や負担金・分担金などです。

■地方交付税

国で集めた税金（所得税、法人税、消費税、酒税、たばこ税）の一定割合（約3割）を町の財政需要に応じて一定の基準のもとに国から交付されるお金です。どの地域に住む住民にも、一定の行政サービスを提供できるようにする財源です。

■国庫・県支出金

事業を行うために、国や県から交付されたお金です。

■町債

事業を行うために借入れたお金です。

用語の解説（歳出）

■義務的経費

支出が義務付けられた経費です。人件費・扶助費・公債費などがこれにあたります。

■投資的経費

資産を将来に残すためのお金です。施設の建設や備品などの購入費がこれにあたります。

■人件費

町職員の給与や議員報酬などです。

■公債費

事業を行うために借入れたお金の償還金です。

■扶助費

児童手当、障がい者等への扶助費など、法令に基づいて被扶助者に支給されるお金です。

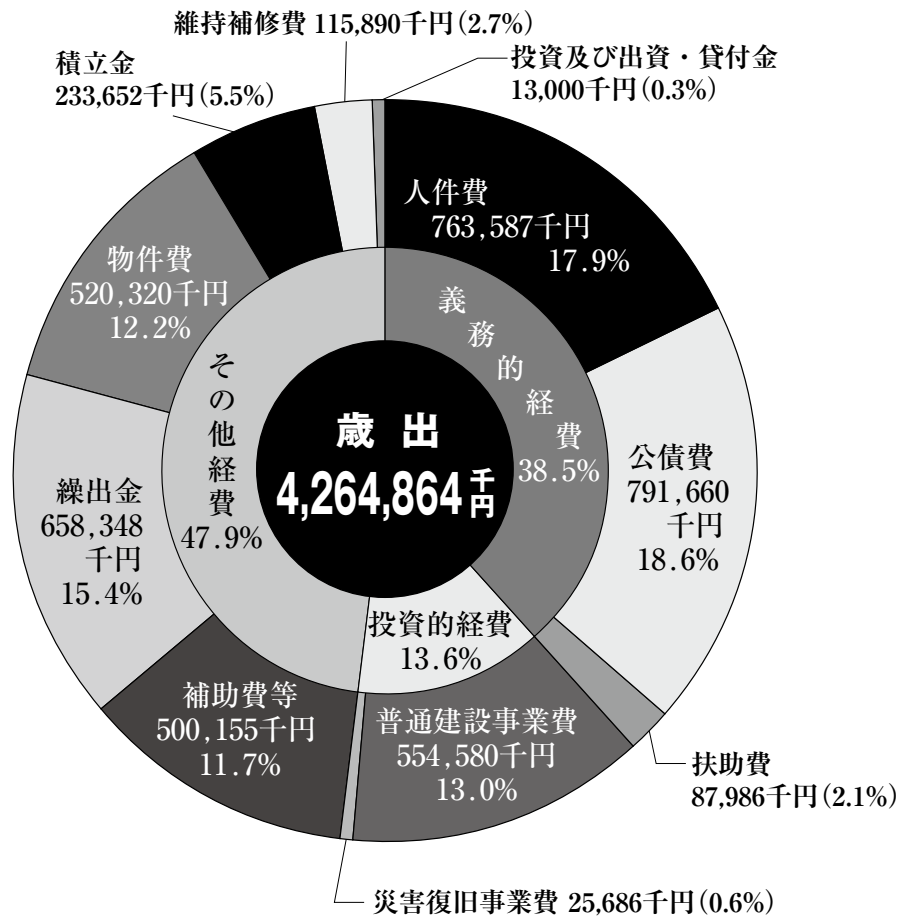
■普通建設事業費

道路や学校などの新增設のために使われたお金です。

■物件費

旅費、電気料、郵便料、備品購入費などの消費的経費です。

町財政状況の公表



歳出

歳出の決算は42億6486万4千円で、前年度に比べ4億7981万9千円減少しました。予算に対する執行率は84.9%でした。

施設や道路などの整備に使った普通建設事業費は5億5458万円（歳出全体の13.0%）で、前年度に比べ5億7576万9千円の減少となりました。これは主に、明和小学校改築事業の完了によるものです。

町職員の給与や町議会議員、各種委員会報酬などの人件費は7億6358万7千円（歳出全体の17.9%）で前年度に比べ3529万3千円減少しました。



▲建設中の只見小学校体育館

町民一人あたりにすると…

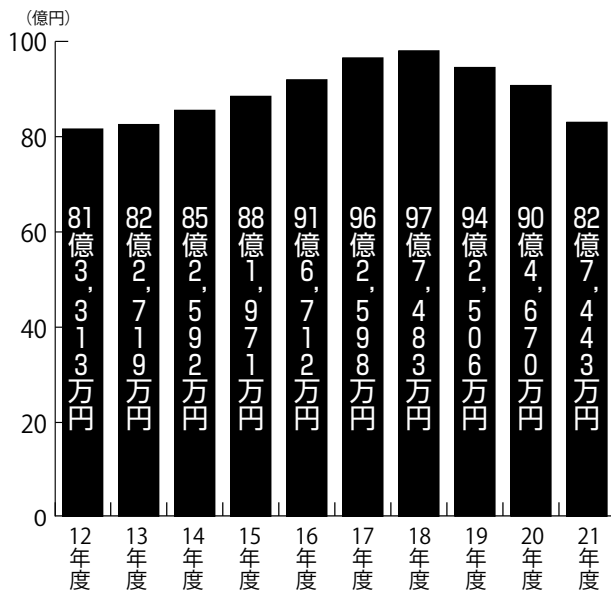
（平成22年3月31日現在の人口5,091人）

■普通会計支出額…837,726円
（使われたお金）

■町税負担額…193,543円
（納めていただいたお金）

■貯金…758,677円
（基金に積み立てているお金）

借入金残高の推移



借入金の残高

(単位：千円)

会計名称	残高
一般会計	4,032,840
国民健康保険施設特別会計	631,773
介護老人保健施設特別会計	174,107
簡易水道特別会計	700,454
観光施設事業特別会計	17,397
交流施設特別会計	24,368
集落排水事業特別会計	2,693,488
合計	8,274,427

財産の状況

(一般会計と特別会計に属するもの)

種別	状況
土地	4,098万4,747㎡
建物	8万0,173㎡
有価証券	9,058万5千円
出資による権利	2億3,226万6千円

特別会計の決算の状況

(単位：千円)

会計区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業特別会計	616,646	586,268	30,378
国民健康保険施設特別会計	372,692	367,170	5,522
老人保健特別会計	3,890	3,890	0
後期高齢者医療特別会計	118,431	118,361	70
介護保険事業特別会計	540,500	507,402	33,098
介護老人保健施設特別会計	226,203	226,203	0
訪問看護ステーション特別会計	20,170	20,170	0
地域包括支援センター特別会計	9,028	9,028	0
簡易水道特別会計	100,446	100,446	0
観光施設事業特別会計	31,076	31,076	0
交流施設特別会計	112,053	112,053	0
集落排水事業特別会計	276,650	276,650	0
朝日財産区特別会計	9,026	346	8,680
合計	2,436,811	2,359,063	77,748

基金(貯金)の概況

(単位：千円)

種別	残高
財政調整基金	449,049
減債基金	756,948
教育施設整備基金等 他の特定目的基金	1,674,005
土地開発基金 (土地保有を除く)	105,733
奨学基金等 他の定額運用基金	194,665
国民健康保険診療所運営基金等 他の特別会計に属する基金	682,020
合計	3,862,420

普通会計の 主な事業(目的別)

総務費	町制施行50周年記念事業・町表彰式	565万円
	新総合行政システム再構築事業	6948万円
	会津計算センター負担金	3552万円
	ブナと川のミュージアム改修事業	4916万円
	減債基金積立金	16,139万円
	電源立地地域対策交付金基金積立金	6,099万円
民生費	社会福祉協議会補助金	943万円
	高齢者生活福祉センター運営委託料	531万円
	デイサービスバス導入事業	690万円
	児童手当・特例給付	2,915万円
衛生費	乳幼児・小児医療公費負担費	668万円
	各種検診委託料	1,265万円
	合併処理浄化槽排水官敷設事業	984万円
	西部衛生処理組合負担金	12,794万円
	合併処理浄化槽設置補助金	2,250万円
労働費	町単緊急雇用対策事業	1,955万円
農林水産業費	中山間地域等直接支払事業補助金	2,078万円

町財政状況の公表

▼財政健全化指標

指標	平成21年度決算	平成20年度決算	比較増減	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率					
①実質赤字比率	—%	—%	—%	15.00%	20.00%
②連結実質赤字比率	—%	—%	—%	20.00%	40.00%
③実質公債費比率	9.6%	11.3%	△ 1.7%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	—%	26.1%	△ 26.1%	350.0%	

※該当額または該当比率が算定されない場合は「—」と表示されます。

○早期健全化基準…基準を超えると財政健全化計画の策定が義務付けられ、国への報告義務を負います。

○財政再生基準…基準を超えると財政再生計画の策定が義務付けられ、事実上総務大臣の同意を得なければなりません。

▼公営企業の経営健全化指標

指標	会計名	平成21年度決算	早期健全化基準
⑤資金不足比率	簡易水道特別会計	—%	20.0%
	観光施設事業特別会計	—%	20.0%
	交流施設特別会計	—%	20.0%
	集落排水事業特別会計	—%	20.0%

※資金不足額が生じていない場合は「—」と表示されます。

平成21年度も

早期健全化基準を

下回りました

【健全化判断比率・資金不足比率の公表】

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）が平成19年6月に公布され、これにより全ての地方公共団体において平成19年度決算から財政健全化にかかる各指標の公表が義務付けられました。只見町の各指標の状況は表のとおりです。

財政健全化法について

従来の法制度では、地方公共団体の普通会計において赤字額が標準財政規模の20%を超えること、いきなり財政再建団体となり、注意喚起の段階がありました。また、特別会計や企業会計にいくら累積赤字があっても財政再建団体とならず、地方公共団体全体の姿を反映したものではありませんでした。

今回の財政健全化法では、「早期健全化」と「財政再建」の2段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計も併せた連結決算により地方公共団体全体の財政状況をより明らかにしようとするものです。

健全化判断比率について

①実質赤字比率
・普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合です。
・只見町は、昨年に引き続き赤字が生じていないため、該当ありません。

②連結実質赤字比率
・全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合です。
・只見町は、昨年に引き続き赤字が生じていないため、該当ありません。

③実質公債費比率
・借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を

示すものです。

只見町は、9・6%で、昨年度比1・7ポイント減となりました。これは、主に公債費繰上償還の実施や大規模償還の完了によるものであり、早期健全化基準の25・0%と比較すると、これを下回っています。

④将来負担比率

一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

只見町は、将来負担額が算出されず、昨年度比26・1ポイント減となりました。これは、将来負担軽減に向けた既発債繰上償還や減債基金等への積立によるものであり、早期健全化基準の350・0%と比較すると、これを下回っています。

公営企業の経営健全化指標について

⑤資金不足比率
・公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。
・只見町は、昨年度に引き続き資金不足が生じていないため、該当ありません。

農業用水路・排水路等工事

1,721万円

県営只見西中山間地域総合整備事業負担金

1,950万円

国土調査事業

1,239万円

里山エリア再生交付金事業

4,056万円

只見町商工会補助金

580万円

只見町観光まちづくり協会補助金

723万円

雪まつり実行委員会補助金

1,150万円

土木費

町道・歩道除雪委託料

9,207万円

町道補修工事

1,973万円

道路改良工事（10路線）

3,908万円

安全施設設置工事

2,058万円

公営住宅改修工事

2,022万円

消防費

非常勤職員報酬（消防団員）

1,403万円

広域市町村圏組合消防負担金

1,328万円

教育費

只見高校振興対策補助金

872万円

スクールバス運行事業

4,123万円

奥会津学習センター施設管理委託

1,488万円

朝日小学校校舎等改修事業

3,358万円

明和小学校改築・旧明小施設解体事業

8,441万円

只見小学校体育館改築事業

1,544万円

災害復旧費

林道災害復旧事業

1,735万円

平成21年度 「自然首都・只見」 応援基金 事業報告

「自然首都・只見」応援基金は、只見町が目指す「まちづくり」にご賛同いただいた皆様からの寄附を通じて、より多くの皆様と連携し、個性豊かな活力あるまちづくりを行うための基金です。（この基金への寄附は、ふるさと納税の対象となります）

平成21年度においても、多くの皆様からお問い合わせをいただきまして、予想をはるかに上回るたくさんのご寄附を頂戴いたしました。全ての皆様に心よりの御礼を申し上げます。

この度、平成21年度の基金事業の報告をさせていただきます。今後とも、只見町の可能性と将来性にご期待くださいますとともに、只見町の「まちづくり」へのご参加をお願いいたします。

1 寄附受入状況について

	延人数	寄附合計額
平成21年度 寄附受入状況	19人	1,775,000円

【内訳】

	寄附件数	寄附金額
(1) ブナを核としたまちづくり	7件	720,000円
(2) 雪と共存するまちづくり	3件	25,000円
(3) 次世代を担う子供たちの教育充実	8件	545,000円
(4) その他の事業	6件	315,000円
(5) 指定なし	6件	170,000円

※（４）その他の事業には、企業誘致・高齢者福祉・児童福祉・医療充実・林道整備の各事業が含まれます。

2 ご寄附をお寄せいただいた皆様（公表を希望されない方は＜非公表＞としております）

寄附年月日	ご住所 (市町村名まで)	ご芳名	金額	寄附内容
平成21年4月6日	東京都港区	天童よしみ様	100,000円	指定なし
平成21年5月11日	東京都千代田区	尾花美恵子様	30,000円	指定なし
平成21年6月25日	福島県郡山市	菅家 満様	10,000円	ブナを核としたまちづくり
平成21年6月29日	福島県福島市	(株)東邦銀行様	670,000円	ブナを核としたまちづくり
平成21年7月16日	東京都日野市	鈴木 清様	5,000円	ブナを核としたまちづくり
			5,000円	雪と共存するまちづくり
			10,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
			10,000円	企業誘致・新企業発案
平成21年7月31日	京都府城陽市	鈴木 有起様	10,000円	雪と共存するまちづくり
平成21年8月10日	＜非公表＞		10,000円	指定なし
平成21年8月17日	福島県南会津町	星 英徳様	5,000円	ブナを核としたまちづくり
			5,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
平成21年8月26日	＜非公表＞		10,000円	ブナを核としたまちづくり
			10,000円	雪と共存するまちづくり
			10,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
			10,000円	高齢者福祉
			10,000円	指定なし
平成21年8月31日	＜非公表＞		10,000円	指定なし
平成21年8月31日	福島県白河市	福原 重吉様	10,000円	ブナを核としたまちづくり
平成21年9月8日	＜非公表＞		10,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
平成21年9月15日	＜非公表＞		200,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
平成21年9月24日	東京都品川区	鈴木 敦子様	10,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
平成21年10月14日	茨城県つくばみらい市	栗田 厚美様	10,000円	指定なし
平成21年11月2日	埼玉県さいたま市	内山 治様	75,000円	高齢者福祉
平成22年2月26日	福島県只見町	吉田 六郎様	100,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
			100,000円	児童福祉
			100,000円	医療充実
平成22年3月29日	福島県只見町	梅宮 守夫様	200,000円	次世代を担う子供たちの教育充実
平成22年3月30日	東京都稲城市	岩瀬 隆之様	10,000円	ブナを核としたまちづくり
			20,000円	林道整備

3 「自然首都・只見」応援基金の状況

(単位：円)

事業の種類	前年度末残高	利子積立	寄附積立	活用取崩	年度末残高
(1) ブナを核としたまちづくり	1,120,000	1,211	720,000	0	1,841,211
(2) 雪と共存するまちづくり	0	0	25,000	0	25,000
(3) 次世代を担う子供たちの教育充実	20,470,000	22,124	545,000	-1,276,541	19,760,583
(4) その他の事業	10,280,000	11,111	315,000	-4,123,170	6,482,941
(5) 指定しない	175,000	189	170,000	0	345,189
合計	32,045,000	34,635	1,775,000	-5,399,711	28,454,924

4 寄附金の使途

平成20年度にいただいた寄附金につきましては、平成21年度において5,399,711円を活用させていただきました。なお、積立金預金利子34,635円が発生しておりますので、「自然首都・只見」応援基金に積み立てし、前年度末残高を元に各事業に配分させていただきました。

【平成21年度 実施事業の概要】

○次世代を担う子どもたちの教育充実に関する事業

- ・小・中学校図書整備事業（只見あしながおじさん事業）

事業費 798,219円

事業概要 只見町内三小学校及び中学校に図書購入

- ・フレンドシップコンサート

事業費 478,322円

事業概要 ウィーン・ザイフェルト弦楽四重奏団の演奏会を開催



○その他の事業（高齢者福祉）

- ・介護老人保健施設・こぶし苑備品等整備事業

事業費 4,123,170円

事業概要 こぶし苑に娯楽用AV機器やテント等野外活動備品、身の回り整理棚などを整備



平成21年度にいただいた寄附金は、全額を「自然首都・只見」応援基金に積み立て、22年度以降の事業に活用させていただくまで厳密に管理させていただきます。

なお、各内訳項目事業の基本的方向性は以下のとおりとしております。

(1) ブナを核としたまちづくり

天賦の資源たる只見町の自然を後世に引き継ぐことを我々の使命とし、その調査研究と必要な対策を行うとともに、世界に誇る只見町のブナ林を広く紹介し、保護啓蒙を図るとともに地域資源として活用を図る。

(2) 雪と共存するまちづくり

特に高齢者にとって負担の大きい雪国での暮らしを支え、安心して生活できる町づくりを行うとともに、多雪から生み出される様々な恩恵を最大限に活かし、また新たな可能性を秘めた固有の地域資源として活用を図る。

(3) 次世代を担う子どもたちの教育充実

地域資源全てを学習対象として地域に学ぶ「只見学」を推進するとともに、将来の只見町を担う広い視野を持った人づくりを行い、また厳しく大きな自然環境での生活を通じた人格形成と、将来につながる高等教育をこの場所を実現するため、福島県立只見高等学校の存続と教育環境の実現を図る。

(4) その他の事業

寄附者の意向に沿った事業計画を立案・実施する。

(5) 指定なし

その他町の活性化・発展に寄与するための事業に充当する。

町職員・特別職の給与

町人事行政の運営などの公表

町職員の給与は、国や県の勧告を基に町議会の議決を得て条例に基づき支給されています。今月は、町民の皆さんに一層のご理解をいただくため、そのあらましをお知らせします。この公表は、只見町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例によります。

(1) 人件費の状況(平成22年度一般会計予算)

区分	歳出額 A(千円)	人件費 B(千円)	職員給与 C(千円)	人件費率 B/A	職員給与率 C/A
22年度	4,021,000	873,972	484,776	21.74%	12.06%

⑨この表は町財政(歳出額)に占める人件費・職員給与費の割合を示しています。人件費(B)には常勤・非常勤の特別職、議員等に支給される給料、報酬などを含みます。職員給与費(C)は、人件費の内一般職員の基本給(給料、扶養手当)及びその他の手当(期末・勤勉手当、時間外勤務手当等)の支給額で、地方公務員共済組合負担金、退職手当負担金を除いたものです。



(2) 職員(一般行政職)の平均給料月額及び平均年齢の状況

区分	平均給料月額	平均年齢
21年度	309,800円	40.7歳
22年度	303,900円	39.7歳

(3) 職員(一般行政職)の初任給の状況

区分	高校卒	大学卒
21年度	142,500円	175,100円
22年度	142,500円	175,100円

(4) 行政職の級別職員数の状況(平成22年4月1日現在：一般事務職【税務職、福祉職除く】)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職名	主事 主事補等	副主査等	主任主査 主査等	班長等	課長等	参事等	
職員数	8人	12人	23人	10人	10人	3人	66人
構成比	12.1%	18.2%	34.8%	15.2%	15.2%	4.5%	100%

⑩行政職員の給料は職務の責任の度合いに応じて6級に分かれています。(平成18年4月改定)

(5) 期末・勤勉手当の支給割合

区分	期末手当	勤勉手当
6月期	1.25月分	0.70月分
12月期	1.40月分	0.70月分
計	2.65月分	1.40月分

(6) 特別職の報酬などの状況

区分	職	給料・報酬(月額)	期末手当(支給割合)	備考
給料	町長	677,700円	・6月期 1.45月分	特別職の報酬等は、平成十七年四月一日より一〇%減額改定されています。
	副町長	541,800円		
	教育長	514,800円		
報酬	議長	270,900円	・12月期 1.65月分	
	副議長	209,700円		
	議員	189,900円		
			計3.10月分	

(7) 部門別職員数(各年度4月1日現在)

区分	部門	一般行政部門									特別行政	公営企業部門				合計
		議会	総務	税務	民生	衛生	農林	商工	土木	教育	病院	水道	下水道	その他		
職員数	平成20年度	2	26	7	15	6	8	4	6	7	13	3	1	6	104	
	平成21年度	2	25	6	15	6	7	5	6	7	16	3	1	6	105	
	平成22年度	2	24	6	15	6	6	5	6	8	16	2	1	6	103	
	21年度:22年度 比較増減		▲1				▲1			1		▲1			▲2	
	主な増減理由		組織・機構の改革に伴う減				国土調査事業縮小に伴う減			教育長の選任による増		民間委託による減				

⑪部門区分は、国の定員管理調査基準による区分です。

八所神社(黒谷)例祭 御遷宮祭 9月5日



けが克服し都市対抗野球で日本一 只見町出身・長谷川進野選手(29)



▲長谷川選手、日本一のガッツポーズ

只見町出身の「長谷川進野さん」が所属する東芝チーム(川崎市)が、第81回都市対抗野球で全国優勝を果たしました。

東芝の優勝は3年ぶり、決勝戦は9月7日に東京ドームで行われ、JR九州(北九州市)と対戦、2対0で勝利しました。

長谷川選手は、平成19年の秋に膝の靭帯を痛める大けがをし、翌年3月に手術、リハビリ

リを乗り越え平成21年1月から東芝でプレーし、今回の優勝にも貢献しました。長谷川選手は、東芝への移籍前に三菱ふそう川崎チームにも5年間所属、その間にも全国制覇を経験しています。電話で「移籍したチームでも優勝できて嬉しい。秋の大会も優勝目指し頑張りたい」と力強く話す長谷川選手、今後の活躍を期待します。

全国大会での只見町出身者の活躍は、町民に夢や希望を与えてくれます。長谷川選手、頑張ってください。

第51回福島県農業賞・新規就農部門 高木正貴さん・純子さん(坂田)受賞



▲高木正貴さん(左)、佐藤知事(中)、純子さん(右)

第51回福島県農業賞(新規就農部門)を、高木正貴さん・純子さん夫妻(坂田)が受賞され、表彰式が9月8日、杉妻会館(福島市)で行われました。

表彰式では、佐藤雄平福島県知事から受賞者一人一人に、賞状と記念の盾が手渡されました。

高木さん夫妻は、福

島県での就農を決意され平成16年4月に、家族4人で只見町に移住、トマト栽培の研修を始められました。その後は、生産技術の習得と向上に努められ、平成18年に南郷トマト生産組合新人賞に輝くなど、産地をリードする優良栽培者として働いておられます。高木さん夫妻は、「安全でおいしいトマトを消費者に届けたい」と話されています。受賞おめでとございます。

南会津地域の発展願い意見交換

移動知事室「知事と語ろう・さわやかトーク」

県民の意見や要望などを県政に活かすこと、そして県政についての理解と関心を深めることを目的とした「知事と語ろう・さわやかトーク」が、9月26日に下郷ふれあいセンター（下郷町）で開かれ、只見町から酒井治子さん（只見）が懇談者として出席されました。

はじめに、佐藤雄平福島県知事のあいさつがあり、「南会津には豊かな自然、公園、文化財産がある。それらを活用しながら地域の発展を目指したい」と話され、懇談者6名が佐藤知事を囲んでの懇談に入りました。

懇談では酒井治子さんが20〜30歳代のお母さんが働きに出れる環境や場所の確保が必要、観光関連でも働き場の提供ができればいいと思う。と考えを述べ、佐藤知事は女性の社会進出については県民会議でも協議している。女性が社会に出る環境を地域ぐるみでつくっていくことが大切。また、地域のカラーを観光で出し、着地型観光に結び付けてほしい。と話しました。

出席者全員の質問や意見に対し回答されたあと、フリートークが行われ懇談が終了しました。最後に佐藤知事は、できることから始めていただき、情報を私たちに伝えないでいただきながら地域づくりを推進していきなさい。と話されました。



▲佐藤知事と記念撮影

さわやかトークに参加して



酒井治子さん
(只見)

初めて参加して、知事と直接お話しして話すことができ、とても緊張しましたが、貴重な経験をさせていただきました。私自身は、自分の故郷で暮らしながら、仕事と子育てをして暮らしている只見町の良さ、そして仕事として関わっている観光まちづくりについて知事にお話ししました。福島県でも、地域の子供たちの一時保育に地元のおじいちゃん、おばあちゃん

が積極的に子育てに協力できるしくみづくりに取り組みたいと考えていること、また平成24年度には福島県の観光PRに関する大型キャンペーンが始まるということで、今後の観光に向けたお話を聞くことができました。南会津の各地域で様々な分野で地域を元気にしようと活躍されている方の話や課題なども聞け、只見町だけでなく、南会津全体でまちづくりをすすめていく大切さも改めて感じました。

平成22年度只見町敬老会が只見・朝日・明和の各地区センターで、9月12日に開かれ、今年度の満75歳以上の方々が、只見地区で158名、朝日地区で196名、明和地区で205名が出席されました。

平成22年9月1日現在での福島県の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は24・9%で、同時期の只見町の高齢化率は41・4%であり、県内で4番目に高いものです。また、町内には満百歳以上の方が4名おられ、長寿の町となっています。

只見地区の敬老会では、目黒



▲楽しく過ごす出席者(明和地区)

町長が「豊かな経験と知識を地域活動に活かされ、今後も町の発展のためご協力をお願いいたします。生きがいを持てるよう高齢者福祉の充実に努めます」とあいさつし、続いて、酒井右一町議会副議長が祝辞を述べ、只見地区老人クラブ連絡協議会会長の鈴木慎介さんが「自己管理に努め、事故などに遭わないよう注意し長生きしたいと思います」と謝辞を述べました。

祝宴では、ユーモアあふれるアトラクションが続き、只見保育所年長組の5名がお遊戯を披露、さらに婦人会の皆さんによる華麗な舞踊などが行われ、会場内は大きな拍手と歓声にまつまれました。温かい心がこもったすばらしい敬老会でした。皆さん、これからも元気で長生きしてください。



▲敬老を祝い乾杯(只見地区センター)

楽しく笑って元気に長生き！

平成22年度只見町敬老会

皆川雅舟(政一郎)さんが「自然首都・只見応援基金」に寄附



▲寄附金を手渡す恭舟さん(左)

只見町名誉町民で書家の皆川雅舟(政一郎)さん(郡山市)が「自然首都・只見応援基金」に100万円を寄附されました。

寄附金は皆川さんの長女、恭舟(恭子)

さんが9月6日に役場本庁を訪れ、町長室で目黒町長に手渡されました。

町からも、このご厚意に敬意と感謝の気持ちを込め、9月11日に行われた皆川さんの胸像除幕式の席上で恭舟さんに感謝状を贈呈しました。

いただいたご寄附は、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



▲高校時代の思い出を話す大竹隆二さん

只見高校の様子や支援体制などを理解してもらうことを目的に、高等学校への進学を控える中学3年生の保護者など関係者約50名が出席し、只見高等学校振興対策懇談会が、9月14日朝日地区センターで開かれました。

はじめに振興対策会議会長の目黒町長より「進路について情報交換いただき、また只見高校についての理解が高まることを期待します」とあいさつがあり、続いて鈴木健司只見高等学校校長からは「近隣の中学生が只見

高校の充実と存続について意見交換 只見高等学校振興対策懇談会

に向いている傾向にあります。只見中学校の生徒も多く入学いただき、成果や実績を残していただきたい」とあいさつがありました。

只見高校の卒業生と部活動指導者からの発表では、平成21年度卒業の大竹隆二さん(布沢)が「学校生活では人間関係や人とのつながりが一番大切。先生、生徒、全員が友達ということがすばらしい学校。この学校でできた友達は大切な宝物。只見高校を卒業できて本当に良かった」と時おり笑顔を見せ話しました。最後に、懇談が行われ、出席者と先生との情報交換も深まり、有意義な懇談会となりました。

故郷の只見に胸像建つ

皆川雅舟(政一郎)さんの胸像除幕式



▲胸像の完成を喜ぶ恭舟さん(中央)

只見町名誉町民で墨雅書道会代表、郡山市在住の書家「皆川雅舟(政一郎)さん(87)」の胸像が、故郷の田子倉地内にある若宮八幡宮境内に建立され、9月11日に除幕式が行われました。場所は田子倉湖を見渡せる位置にという皆川さんの希望により決められました。

皆川さんが地域文化功労賞(国)や文化功労賞(県)を受賞されたこと

から、その功績をたたえ墨雅書道会会員の方などの寄附で胸像が建てられました。

除幕式には実行委員長の山田鳳仙さんや墨雅書道会会長で長女の恭舟(恭子)さん、目黒町長、五十嵐拓町議会議長、墨雅書道会会員の方などが出席、胸像を除幕しました。

最後に、皆川さんから只見町に、次世代の育成にと多大なご寄附をいただいたことから、目黒町長が恭舟さんに感謝状を贈呈しました。

福島県芸術文化団体連合会などが主催し、9月5日に會津風雅堂(會津若松市)で開かれた福島県芸術祭に只見町から小林早乙女保存会(堀金俊彦会長)が出演しました。

この催しは、県内最大級の芸術文化の祭典で9月から11月にわたり行われます。その開幕行事として県の伝統文化団体による伝統芸能が披露され、小林早乙女保存会はじめ、会津の各地域から7団体が出演、踊りや獅子舞、民謡などで、県内各地から集まった観客を、地域に伝わ

響け輝け世代をこえて!! 福島県芸術祭に小林早乙女保存会が出演

る独特の芸能の世界へと引き込んでいました。



▲小林早乙女保存会の踊り



明和小学校 (9月22日)

「安全運転心がけて！」交通安全鼓笛パレード



只見小学校 (9月21日・町下体育館)



朝日小学校 (9月24日)



▲緑につつまれたブナの原生林を散策する参加者

ブ 浅草岳・沼の平トレッキング ブナの原生林と点在する沼の景色が魅力

新潟県中越地震などの影響から入山禁止となっていた浅草岳の沼の平エリアの散策が6年ぶりに可能となり、9月26日に「浅草岳・沼の平トレッキング」が只見町観光まちづくり協会主催で行われました。登山道の修復作業も完了したことから入山が再開、沼の平はブナの大木や、ブナの原生林に囲まれた神秘的な沼が魅力で、自然の豊かさを象徴するスポットです。ぜひ皆さんも訪れてみてください。

指 「げんき村」がふるさと恵みの店に指定 定基準をすべてクリアー

げんき村（只見農産加工企業組合）が、ふるさと恵みの店（県産品取扱店）として福島県知事の指定を受けました。この指定を受けるには決められた14品目の県産品のうち7品目以上取り扱っているか、また年間を通して長期的休業がないか、地産地消に取り組んでいるかなど、全6項目の基準要件をすべて満たさなければなりません。げんき村はすべてをクリアーしました。指定は町内で2ヵ所目です。

▼ロゴが入ったパネルを手にする梁取徳雄理事長（中央）



只 曾野綾子さん講演会 見高校文化祭の記念事業で来校

作家の曾野綾子さんが9月4日、只見高等学校を訪れ、講演を行いました。この講演会は文化庁の学校派遣講演事業により開かれたもので、講演のテーマは「世界の中の日本」、曾野さんは今までに訪れた120ヵ国での貴重な体験談や「読む・聞く・話す・書く」こと、国語力の重要性などについて講話しました。生徒や保護者、町民の方が聴講されました。



▲国語力の大切さを説いた曾野綾子さん

功 小沼昇さんの叙勲を祝う会 績たたえ受章を喜び祝う



▲謝辞を述べる小沼昇さん

春の叙勲で旭日双光章を受章された前只見町長の小沼昇さん（黒谷）の叙勲を祝う会が9月19日に季の郷湯ら里で開かれました。発起人代表の目黒町長があいさつし、五十嵐拓町会議長らが祝辞を述べました。小沼さんは謝辞で「町民として、この豊かな自然の町で、ゆったりと暮らせる地域づくりの力になっていきたい」と述べました。小沼さんは平成8年から12年間、町長を務められました。

各地区で熱戦・町民運動会（9月26日）



只見地区
町民運動会



朝日ふれあい
運動会



明和地区
町民大運動会

絵 本とあそぼう・全国訪問おはなし隊 本満載キャラバンカーが明和保育所に



▲約550冊の絵本などが自由に楽しめる

楽しい絵本をいっぱい載せたキャラバンカーが9月24日、明和保育所を訪れました。この活動は読書の楽しさを多くの子どもに伝えることを目的に講談社（東京都）が行なっている「本とあそぼう・全国訪問おはなし隊」が来所したもので、この日は只見保育所と朝日保育所のお友だちも集まり、たくさんの絵本に親しみ、おはなし隊の紙芝居で楽しい時間を過ごしました。

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹 秀一

「クスリ」のおはなし

皆さんの身のまわりにはたくさん種類の薬があり、それぞれ病気を治したり、健康を維持したりするのに役立っています。一方、反対から読むと「リスク（危険）」との言葉どおり、適切に使用しないと思わぬしっぺ返しを食うこととなります。今回は僕が診療所で経験した薬の失敗談を交えて話をします。

【例1】先日外来に来たAさん、「眠れないから薬をくれ。友達にもらった安定剤飲んでらよく眠れたから」と、友人にもらった薬を僕に見せました。よくみてみると：なんと、下剤だったのです。どちらも寝る前に飲む薬なので、友人は間違って渡してしまっただけでしょう。それでも眠れてしまったAさんってすごいっ！下剤だったから良かったものの、薬によっては命に関わる物もあります。決して貸し借りは行わないようにしましょう（責任、取れま

せんよね）。

【例2】高血圧の患者Bさん、血圧の薬を出しているのですがなかなか血圧が下がらず、僕なりにあれやこれやと頭を悩ませ、外来にてどんどん降圧薬が増えていきました。ある時福祉の職員から「先生、Bさん全然薬を飲んでいませんよ」と指摘されびっくり！下がるわけ無いよなあ……。処方された薬はきちんと用法・用量に従って飲んでください。また、どうしても飲み忘れた際には正直に医師（看護師・薬局でもいいです）へ教えてください。それも貴重な情報になります。

いいことだらけなら僕たちもどどん薬を出したいですが、薬には必ず副作用が存在します。肝臓・腎臓の機能障害をきたしたり、体の電解質を狂わせたりします。時に僕たち医師は、その副作用を逆手にとって逆に治療に用いる

こともありますが、日常的ではありません。皆さんも薬を服用する際には必ず副作用について確認し、当てはまる症状が出たときはすぐに相談してください。

現在国内で薬の利かない耐性菌があちこちで検出された、と話題になっていますが、これも実は薬（抗生剤）の乱用が原因で起こったともいわれています。必要量・期間以上に抗生剤を使用することで、それが効かない耐性菌が突然変異で生まれてしまうのです。

薬とは「①必要なときに②必要な薬を③必要期間用いる」ことが大事なのです。薬の知識をみんなが共有し、うまく恩恵にあずかれるようにしましょう。

市町村対抗野球大会！ 只見町チーム初戦惜敗

第4回市町村対抗福島県軟式野球大会が、福島市あづま球場で行われ、「初戦突破」を目指し挑んだ、只見町チームが初戦で惜敗しました。過去3回の大会も初戦で敗退。今年こそは、初戦突破を！とチーム一丸となって勝利を願って戦いましたが、優勝候補と前評判の高い二本松市を相手に息詰まる投手戦の結果、0対1で惜しくも敗れてしまいました。



当初予定されていた9月26日の初戦が雨天のため延期になり、10月2日に初戦を迎えました。

7月から練習を重ねてきた只見町チーム。残念ながら結果として初戦敗退となってしまいましたが、試合終了後は来年に目を向け、またチーム一丸となって勝利を目指すことを誓い合いました。

来年もさらなる只見町チームの活躍に期待したいと思います。

◀二本松市に惜しくも敗れた只見町チームの攻撃

町史

つとておきの話

195

神奈川大学非文字資料研究センター協力研究者

ルシーニュ・フレデリック



只見町の年配の方々からお話を伺った時、最初にうけた印象は性別にほとんど関係なく識字率が高いことと、農業法などの近代的技術も含めて学問に対する熱心さが伝わってくるということでした。もちろん外国人である私にはその水準を正確に計ることができませんが、私たちに對する町民の方々の優しい待遇の裏には学問に対する関心の深さもあるのではないかと思われました。他所の人に、自分たちの民俗文化を何時間も丹念に飽きずに語るのを見て、少しづつ只見町の教育について興味を持ち始めました。



▲民具カードを整理する町民（平成2年）

そこで、神奈川大学COEプログラムとは別に、佐野賢治先生ゼミの大学院生による民俗調査団が2008年3月に刊行した『大倉の民俗―福島県南会津郡只見町大倉―』（佐野賢治編）のなかで、教育についての簡単な報告を書きました。私たち院生による民俗調査団には、オーストリアからサイモンさん、韓国から林淑姫さん、そしてフランスからは私という3人の留学生がいました。ここにベテラン調査員の小松大介さんや古谷野洋子さんなどが参加していて、国際的でもとて有意義な民俗調査を経験することができました。なにより有り難かったのは、町民の方々にお会いする度に学生と住民が学問の楽しさを一緒に共有できる機会を多くいただいたことです。

私にとって只見は紛れもなく外国です。それでも、明治時代から始まった欧米との交流が長くなったお陰で（いい面と悪い面も）、只見町の住民も欧米人である私も近代化の経験を共に持っていると感じました。また、教育について調べたところ、戦

後、只見町では多くの農家の子どもたちに高等学校や大学へ進学するチャンスを与える社会を作っているという地域あげての努力があったそうです。そこからもこの地域での教育や学問への熱意を垣間みる事ができます。そしてこれが私たち大学院生による調査を支持してくれた基盤になっていると思います。

只見町の伝統的な生活様式が近代化したのは、田子倉ダムが竣工した以降の高度経済成長期（昭和30年代）の頃だそうですが、それを思えば、前近代的な民俗文化がわりと最近まで存在していたと言えます。さらに、その時代を生きた方々が、まだ町内にはたくさんおられます。そのお陰で、いわゆる「伝統的社会」の消滅という中であつても、只見町の住民が自分の力で民具カードを記録したのです。近代教育の普及と只見町民の学問への情熱がもたらした興味深い成果だと思えます。



▲完成した『大倉の民俗』

まれたものです。これに加えて只見町民が近代化の過程で培った文化や学問に対する熱意、そして戦前を経験された話者が健在であるという民俗学にとって極めて恵まれた環境が相まって、「只見方式」による民具整理やカードへの記録、さらには作業工程表を編集するという偉業を達成できたのだと思います。これらの好条件があつたからこそ、只見町という地域で世界初のインターネット・エコミュージウムが誕生したのだと確信しています。

町民文芸



只見短歌会

八月詠草

大塚栄一 指導

足裏の熱き廊下に幾度も爪立ちしつ洗ひ物干す

古川 英子

盃蘭盆に帰省せし娘と新盆の友を悼みて香を焚き継ぐ

吉津 政枝

葛の花匂ふ墓地にて思ひ出をたどり丹念に草を刈りゆく

馬場 八智

友引と火葬場の都合重なりてすでに焼かれし兄を送りぬ

皆川 恒子

暑きなか一輪挿しにカーネーションを施設の部屋に姪が活けゆく

五十嵐 英子

連日の猛暑に萎えし野菜類に夕立待てど音のみひびく

渡部 ゆき子

夫在らば金婚式と思ひるつ我らには来ぬ祝日なりき

五十嵐 夏美

田の隅を手刈りする稲束ねむと固き古藁夜露に当てぬ

目黒 富子

枝豆を食べれば亡き祖母思ひ出づ三粒づつ穴に入れて植ゑにき

齊藤 ちひろ

菜や大根今年は早く蒔き終へて芽の出るを待ち夫は水やる

渡部 ヨリ子

投票終へ町中めぐると娘言ひ老いたる夫とわれを乗せゆく

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

九月例会

目黒十一 指導

稲田張るテープ案山子の揺れ止まず

リウコ

一日を緋鯉になって過したし

敦子

御遷宮行列続く稲の秋

康女

十葉を抜きし香りに母想ふ

康女

今よりも若き時なし蟻急ぐ

一穂

鼓笛の音遠くに聞きて稲を刈る

一穂

母愛でし芙蓉一輪夏おしむ

礼

産土神の新注連懸り秋祭

礼

カーテンの引かれし窓や盆の後

修一

静脈の流れに抗し汗垂るる

一灯

芋掘って仲直りする気配見え

一灯

背表紙の破れアルバム終戦日

積まれある白木のデコや秋暑し

恒夫

デコの目の開く二階や竹の春

邦男

爪を切る音のたしかに今朝の秋

邦男

小流れの音の入りくる夏座敷

吉児

御遷宮五度目は星の空の下

吉児

大団扇右に左に露払い

隆堂

鬼百合や一人暮らしが村に増え

隆堂

堆肥積む草の香りや汗滾る

邦夫

敗戦忌上海戦は星一つ

笑羊

山からの風に残暑を凌ぎけり

笑羊

遠雷や炭の匂いの味噌にぎり

笑羊

川の霧上がり青空ミュージアム

笑羊

今月のお知らせ

RECRUITMENT

募集

南会津地方

統一防火標語

秋季火災予防運動の一環として、防火標語を募集します。最優秀作品は南会津地方統一防火標語として防火ポスターをはじめ広く活用されます。

●募集期間

11月1日(月)～15日(月)

●募集テーマ

火災予防に関するPR標語

●応募方法

官製はがきまたは電子メールで防火標語(それぞれ一通につき標語5点まで)を書き、住所、氏名、ふりがな、年齢、職業及び電話番号を必ず明記のうえ、次のあて先に送付または送信してください。

なお、お一人で何通応募されても結構です。

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

●応募先

〒967-0004

南会津郡南会津町田島字西上川原乙65

南会津地方広域消防本部内

南会津消防設備協会

「防火標語」係

メールアドレス

boukaihyougo@live.jp

●発表

新聞紙上で発表するとともに、入賞者には直接通知します。

▼問い合わせ

南会津消防本部予防課内

南会津消防設備協会事務局

☎ 02441-6212141

LIFE

ふくしま大卒等

合同就職面接会

平成23年3月に大学院・大学・短大・高専・専修学校等を卒業

予定の方、平成20・21・22年3月に卒業し現在就職活動をして

いる方を対象に、県内に就業場所又は営業拠点を有し、正社員として雇用する計画のある事業所と、就職面接会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

●日時・場所

▽11月16日(火)

午後1時～午後4時

▽ビッグパレットふくしま(郡山市南2-52)

●主催

厚生労働省福島労働局、公共

職業安定所、福島県、郡山市

●内容

事業所のブースにおける人事担当者との個別面談、安定所等、各機関による職業相談・情報提供等

●その他

①事前申込不要です。お気軽にお越しください。

②参加事業所は各会場の開催一週間前に、福島労働局ホームページ上で公開します。

▼問い合わせ

厚生労働省福島労働局職業安定課

☎ 024-528-0366

障がい者就職面接会

次により面接会を開催します。

●日時・場所

▽11月22日(月)

午後1時半～午後4時

▽会津アピオスペース
展示ホール

(会津若松市インター西90)

▼問い合わせ

ハローワーク会津若松
専門援助部門

☎ 02442-2613333

職場の労使

困りごと相談会

皆さんの職場のなかで起きてくる賃金や労働条件をめぐる労使間の困りごとについて、出張相談会(秘密厳守)を行います。

税 今月の納期

10月25日までに納めましょう

- 固定資産税(3期)
- 国民健康保険税(4期)
- 農集排使用料(10月分)
- 介護保険料(4期)
- 後期高齢者医療保険料(3期)

無料ですので、お気軽にご相談ください。

●日時・場所

▽10月31日(日)

午前10時～午後3時

▽会津若松市中央公民館

※労使困りごと相談は、来所、電話、電子メールで随時受け付けておりますので、ご相談ください。

▼問い合わせ

福島県労働委員会事務局

☎ 024-521-7594

職場のトラブル解決サポート

職場でのトラブルにお悩みの方、トラブルの発生が心配な方、人事・労務などで疑問をお持ちの方などは、お気軽にご相談ください。

▽会津総合労働相談コーナー
会津労働基準監督署内

(会津若松市城前2-10)

☎ 02442-2616494

本選開催！ パソコン甲子園

2010

全国42都道府県469チームから予選を勝ち進んだ30チームの高校生などが、情報処理関係の技術を競います。当日は競技のほか、豪華賞品の当たる抽選会も行います。また、漫画家の松本零士先生の講演会も行います。ぜひ、ご来場ください。

日時

▽11月6日(土)

午後1時半～午後5時半

「プログラミング部門」

▽11月7日(日)

午前9時45分～午後0時15分

「デジタルコンテンツ部門」

午後1時15分～午後1時45分

「早稲田大学理工学術院

教授 寛捷彦先生講演」

午後2時～午後2時半

「漫画家松本零士先生講演」

午後2時45分～午後3時45分

表彰式(抽選会)

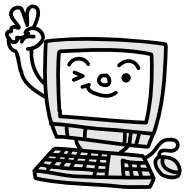
場所

会津大学(会津若松市一箕町)

問い合わせ

パソコン甲子園事務局

02442-3712532



会津・漆の芸術祭

この秋、会津地域で「漆」をテーマに「会津・漆の芸術祭」が行われます。作家や職人のアート作品が展示されるほか、たくさんのまちなかイベントが催されます。縄文時代から漆のかかわりが深い「漆のくに・会津」で、漆の歴史、民俗、技、美に触れる芸術祭に、ぜひおいでください。

期間

10月2日(土)

～11月23日(祝)

▽11月23日(祝)

会場 会津若松市・喜多方市・三島町・昭和村

●入場料 無料(一部を除く)

▽問い合わせ

福島県立博物館

02442-2816000

福島県文化振興課

024-521-7179



法務なんでも

無料相談所

次により、法務なんでも無料相談所が開設されます。お気軽にご相談ください。

日時・場所

町長室日誌

〈9月分〉

- 1日 ブナセンター友の会発足式
- 2日 庁議、地域計画本部会、会津若松市北会津在住高橋氏来庁
- 6日 墨雅書道会会長皆川恭子氏来庁
- 7日 9月定例議会開会(～16日)
- 11日 名誉町民皆川雅舟氏胸像除幕式及び祝宴
- 12日 只見町敬老会
- 14日 只見高等学校振興対策懇談会
- 15日 町村対抗軟式野球大会出場チーム代表者挨拶に来庁
- 17日 只見小学校体育館上棟式
- 19日 前町長小沼昇氏の叙勲を祝う会
- 21日 只見小学校交通安全パレード
- 22日 長浜地区「高齢者お楽しみ会」、明和小学校交通安全パレード
- 24日 会津森林管理署南会津支署長来庁、朝日小学校交通安全パレード、湯ら里役員会
- 26日 西部環境衛生組合職員採用候補者試験
- 27日 衆議院議員渡部恒三氏母告別式
- 30日 只見町文化祭実行委員会



不正軽油は犯罪です!!

○不正軽油とは、軽油に課税される軽油引取税を脱税するために、灯油や重油を混ぜるなどして製造した燃料で、環境汚染や不法投棄の問題の他に、石油製品販売業・運輸業・建設業等の公正な市場競争も阻害しています。

◎不正軽油に関する罰則について、不正軽油問題へ厳正に対処するために罰則が強化され、不正軽油に関わるすべての人が罰則の対象となっています。

10月は不正軽油撲滅強化月間!

福島県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」とし、関係団体と協力して不正軽油の排除に取り組んでいます。

不正軽油に関する情報等がありましたら、下記までお寄せください。

福島県税務課 電話 024-521-7205 FAX 024-521-7905
メール zeimu@pref.fukushima.jp

福島県ホームページの「くらしと県税」からも情報提供できます。
URL <https://www.shinsei.elg-front.jp/fukushima/uketsuke/dform.do?id=1260874490518> (匿名での提供も可能です)

町民の消息

(9月1日～9月30日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

大 東 芽 生 (女/一 臣・由 佳) 梁 取
阿 部 悠 貴 (男/貴 仁・仁美枝) 只 見

■ご結婚おめでとうございます

只 見 渡部 公栄♡只 見 目黒 絹枝
入叶津 佐藤 雄助♡黒 谷 馬場 郁与

■おくやみ申し上げます

河原田 永 一	87才	大 倉
星 秀 子	75才	榎 戸
馬 場 保	84才	塩ノ岐
佐 藤 アキヨ	84才	大 倉
藤 田 滋	79才	只 見
飯 島 治 市	79才	坂 田
三 瓶 トメノ	86才	八 木 沢
横 山 孝 一	96才	榎 戸
馬 場 悌	94才	蒲 生

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成22年9月1日現在

人 口	4, 9 4 6 (+ 3)
男	2, 3 5 7 (+ 3)
女	2, 5 8 9 (-)
世帯数	1, 8 7 5 (- 2)
高齢化率	41.4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 13 転出 6 出生 3 死亡 7

▽いよいよ只見にも実りの秋が到来です。田んぼのあちこちではコンバインの音が鳴り響き、米の収穫作業もピークを迎えました。食欲の秋、新米が楽しみです。▽そんな実り豊かな只見の秋を紹介する「只見の秋の実り展」が、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれています。松茸をはじめ、只見で採れるさまざまなキノコが展示されているほか、存在感のある大きなイガのついた栗の木も展示、さらに、あけびや穀物類も現物が並べられ、分かりやすく解説されています。皆さんも訪れてみてください。

あとながき

地区センター長
馬場 博美

只見地区センター
図書室 ☎ 82-2141

おすすめ新着図書

★青天の霹靂



劇団ひとり/著

「ひょっとして俺は特別じゃないのかも……」学歴もなければ、金もなく、恋人もない35歳の晴夫。特技といえば、手品が少しできるくらい。一流のマジシャンを目指していたはずが、17年間、場末のマジックバーから抜け出すことができない冴えない日々を送っている。腐りきった自分に飽き飽きしていたある日、テレビ番組のオーディションに挑むことに。審査員の反応に初めて将来への希望を抱いた帰り道、一本の電話が晴夫の運命を大きく変えることに――。ミリオンセラー『陰日向に咲く』に続く、笑いと涙の感動物語がいよいよ開幕!!

★床下の小人たち



メアリー・ノートン/作
林容吉/訳

イギリスの古風な家の床下に住む小人の一家。生活に必要なものはすべて、こっそり人間から借りて暮らしていましたが、ある日、小人の少女がその家の男の子に見られてしまいます。カーネギー賞を受賞した、イギリスファンタジーの傑作。「小人シリーズ」の第1作。

★ゼロからはじめるかぎ針編み生活



了戒かずこ/著

1 道具・糸・基本テク…聞くに聞けない疑問を解決!かぎ針編みの基本Q&A (どんな道具が必要ですか?どんな糸を買えばいい?使うかぎ針はどうやって選ぶの?糸の端っことは、どこにあるの? ほか)
2 基本の編み方も応用も編みながらマスター!クロッシェレシピ (細編みのボーダーポーチ、すじ編みのポットホルダー、ジグザグボーダーマフラー、モチーフつなぎのミニマット ほか)

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

ヤマブドウ

植物／ブドウ科／山葡萄

北海道から四国の山地に生える野生のブドウです。ツル性の樹木で、別の木に巻きひげをからませて茂ります。只見町では林道脇や刈り払った跡地など明るく開けた場所に自生しています。

果実は9月末から10月にかけて黒く熟し、やや酸味が強く、そのまま食べたり、ジャムや天日干しにします。とくに親しまれてきた「ブドウ水」

は、果実と砂糖を漬けて作るジュースで、子どもが風邪をひいたときにも飲ませました。樹皮は丈夫で型崩れしにくい特徴があり、背負いカゴや蓑、ナタ袋などの材料に使われてきました。



特別企画展

○只見の秋の実り展 10月2日(土)～11月23日(祝)

ブナセンター講座

○第9回 「キノコと森について語ろう」 講師：瀬畑雄三さん
日時：10月23日(土) 午後3時～午後4時

○第10回 「ユネスコ・エコパーク(生物圏保存地域)に関する講演会」
講師：酒井暁子さん(横浜国立大学大学院准教授)
日時：10月31日(日) 午後1時30分～午後3時30分 会場：明和地区センター

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆インキを使用しています

イベントカレンダー

10月

10日(日)

「第48回只見駅伝競走大会」

「浅草岳・沼ノ平トレッキング」

16・17日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

会津若松―只見(一日一往復)

17日(日)

「浅草岳・沼ノ平トレッキング」

23・24日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

会津若松―只見(一日一往復)

30・31日(土・日)

「SL会津只見紅葉号運行」

会津若松―只見(一日一往復)

11月

3日(祝)

「快速只見紅葉kenji号運行」

新潟―只見(一日一往復)

「只見町文化祭」

13日(土)

「第19回只見新そばまつり」

…只見地区センター

▼毎週日曜日、午前8時半より只見駅前

「ひんのめえ市」を開催しています。

お家では食べきれない野菜を只見駅で販売してみませんか。お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人只見町観光まちづくり協会

0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時